

# 自治連 たま

■発行 多摩市自治連合会  
 ■編集 自治連広報委員  
 (事務局) 多摩市役所  
 協創推進室内



〒206-8666 多摩市関戸六丁目12番地1  
 TEL 042(338)6892 FAX 042(337)7660  
<https://www.city.tama.lg.jp/kenkofukushi/katsudo/jichikai/index.html>  
 令和8年3月20日

## 会長挨拶



多摩市自治連合会  
 会長 中村 一雄

皆様こんにちは。  
 早いもので昨年6月の定期総会で会長に就任してから9か月が経ちました。  
 9月、11月に自治会・管理組合サロン、10月に視察研修会、12月にオンライン化実証実験報告の合同部会、1月に新年情報交換会、2月に学習会と、予定した事業を実施してきました。  
 一方で、自治連の抱えている課題・問題点について内部での議論を重ねています。いずれステップ毎に皆様からのご意見を聴く機会を作って行きたいと考えています。皆様におかれましては、インフルエンザ、コロナ等がまだまだ油断できない状況にあり、花粉症も例年に増して影響が懸念されますが、体調の維持管理に留意され、この冬を乗り切り、新年度を迎えられる様、祈念しています。

## 学習会

<参加団体・人数>  
 ・自治会 16団体 20名  
 ・管理組合 2団体 2名

日 時：令和8年2月7日(土) 午後1時30分～午後3時  
 場 所：多摩市立永山公民館 集会室  
 テーマ：「多摩市社会福祉協議会の事業について」(多摩市社会福祉協議会)  
 「生活支援体制整備事業における地域の実情・ニーズについて」  
 (多摩市高齢支援課)

多摩市社会福祉協議会は、令和5年に法人化50周年を迎え、地域福祉の推進を図ることを目的として、様々な事業に取り組んできました。主な事業として、ボランティア・市民活動支援として、地域のネットワークを活かして、「ヒト、モノコト、カネ、場所」の問題に対して地域貢献活動のコーディネートを実施しています。令和8年2月1日現在47団体が参加し、食料無料配布事業、災害学習会、募金活動、復興支援事業などを行っています。まちづくり事業として、市内10エリア毎にその地域で活動する団体、住民が主体となり、情報共有し課題解決に向けて活動しています。

また、住民同士が助け合うことができる地域づくりを推進することを目的として、自治会・住宅管理組合等が行う福祉活動に対し、助成金を交付しています(令和7年度は39団体56万円を交付)。この助成金については、令和8年度から改正を行うため、6月に自治会・管理組合向け説明会を予定しているとのことですが、助成金改正案には多くの質問が出され、参加団体の関心の高さが伺えました。

後半は多摩市高齢支援課から、生活支援体制整備事業について説明がありました。地域で高齢者が充実感を持ち、安心して暮らすためには、地域に多くの選択肢(サービスや活動)が必要と捉え、その選択肢を増やしていくことがこの事業の目的とのこと。そのためには、地域の実情やニーズを把握することが重要とし、自治会・管理組合にヒアリングした結果が報告されました。自治会によって地域課題や活動状況に差がはっきりあることや、要配慮者の把握が出来ている自治会は少なく、高齢化の進行で活動の難しさが見えてきたとのこと。その上で、多世代への啓発やコミュニティの弱体化を防ぐサポートや、高齢期でも継続できる地域コミュニティの検討を進め、柔軟な発想でこれからも取り組んでいくとのことでした。



多摩市社会福祉協議会の説明



多摩市高齢支援課の説明



質疑応答

# 新年情報交換会

令和8年1月17日(土)に、パルテノン多摩4階会議室1にて、新年情報交換会を開催しました。来賓・役員を含め51名の参加をいただきました。

正午に開会し、始めに多摩市自治連合会中村会長の挨拶、続いて顧問の三階市議会議長より御祝辞をいただきました。その後、ご参加いただいた来賓の皆様のご紹介に引き続き、来賓代表として多摩市社会福祉協議会 渡邊常務理事より御祝辞をいただきました。

その後、多摩稲城交通安全協会の千田会長に乾杯の発声をいただいた直後に、公務により遅れて、顧問の阿部市長、千葉教育長が到着され、あらためて乾杯をし、御祝辞をいただき、和やかに歓談、会食が始まりました。

参加者の皆様は食事を楽しみながら、他団体との交流を深め、地域活動における課題や取組みについて、和気あいあいと情報交換をされていました。

しばらく歓談が続いた中、13時を過ぎた頃に、恒例のビンゴゲームが始まりました。ビンゴカードを手に取り、番号が発表されるたびに、参加者からはリーチ！ビンゴ！などの声が上がって、雰囲気が盛り上がり行きました。楽しい催しの賑やかさが残る中、最後は多摩市自治連合会の菊川副会長の挨拶で閉会となりました。

今回の情報交換会に参加された皆様にとって、会の目的である会員相互の情報交換、親睦を深めることが、少なからずできましたら、役員一同幸に思います。

今後も、地域の皆様のご意見を頂戴しながら、自治連の各事業を進めて参りますので、引き続きよろしくお願いたします。



総会の様子



阿部市長



三階議長



千葉教育長



歓談の様子

# 自治会・管理組合サロン【第2回】

日時：令和7年11月15日(土) 午後2時30分～午後4時  
場所：唐木田コミュニティセンター ホール  
テーマ：高齢化問題（高齢者の居場所づくりや支え合いについて）

<参加団体・人数>  
・自治会 8団体 9名  
・管理組合 4団体 4名

令和7年度第2回サロンは、「高齢化問題」をテーマに高齢者の居場所づくりや支え合いについての意見交流・交換が行われました。9月実施の「高齢化問題」のアンケート調査結果を踏まえ、戸建て中心の自治会8団体（9名）と集合住宅団地の管理組合4団体（4名）の2グループに分かれて行われました。

各自治会、管理組合ともに、高齢化をめぐり、何らかの手を打つ必要性は感じながらも具体的に取り組んでいるところは極めて少なく、何から始めて行けばいいか解らないところが殆どという状況でした。アンケート結果でも「高齢者対策としてどんな事が大切か？」では、どうすればいいか解らないとの回答が約6割もありました。

特に高齢化により、集会所に人が集まらない、様々な催しにも参加者が少ない、また高齢者が外出できなかつたり、介護を必要とする人が増えている状況下で団地内でのつながりや気配りがほとんど無くなっている、無関心層が多くなっている等について多く指摘されました。さらには、ある団地での孤立死を契機に、団地内での近所付き合い、見守りのあり方、災害対応のあり方などが大きな問題として挙げられました。アンケート結果でも「支え合い対策を行っていますか？」では、行っていないとの回答が6割もありました。

限定的ですが、小学校を巻き込んで子どもや親や高齢者との横の繋がりをつくることで、自治会活動の活路を見出そうと取り組んでいる団体も紹介されました。

高齢化問題アンケート結果とサロンのグループ討議での切実な意見を伺い、多摩市内の自治会・管理組合は、一部を除いて組織として弱体化しており、抜本的なてこ入れを必要としている団体が多いのではないだろうか、と感じました。



自治会グループ



管理組合グループ

## 視察研修会

|     |   |
|-----|---|
| 開催日 | 令和7年10月14日(火)                             |
| 視察先 | 富士見町(ハケ岳少年自然の家)                           |
| 参加者 | 会員9団体15名、役員9名 計24名<br>富士見町 区長・副区長・町職員等 9名 |



今年度は、多摩市の友好都市である自然豊かな長野県富士見町が町制施行70周年を迎えるにあたり、富士見町の区長(多摩市で言う自治会長)さんと意見交換を行い、今後の自治会・管理組合活動の参考とするべく企画しました。



会場のハケ岳少年自然の家に到着後、早速3つのグループに分かれ、情報交換を実施しました。

富士見町では、多摩市で言う「自治会・管理組合」が「区」あるいは「集落組合」という名称で、現在34区、5集落組合の合計39あります。地域ごとに規約があり、入区費、月ごとの区費は多摩市に比べ高額であるとのことでした。共同作業(道路、用水路などの維持管理、区域内の除雪など)に参加できない区民は“出払い金”“出不足金”を支払っています。

農村地帯では少子高齢化が進み、若い世代に入会してもらいたいが、区・集落組合への加入は任意で、加入率は近年特に減少傾向にあるとのことでした。

当日は、行きのバスで高速道路の事故渋滞などにより到着が遅れてしまい、意見交換の時間が少し短くなりましたが、町・区の運営方法や多摩市の自治会・管理組合の様子などをグループ内で共有することができ、大きく生活環境が違う中での活動の大変さを学び、とても参考になりました。富士見町と多摩市の対比ができ、大変有意義な研修になりました。

**\*「たま広報」に“富士見町発!すずらんだより”が掲載され、定期的に富士見町の情報を発信しています!**

## 合同部会

### テーマ「オンライン化実証実験の実施報告について」

令和7年12月6日(土)に多摩市立関戸公民館の大会議室にて合同部会が開催され、27団体、41名が参加しました。今回の合同部会は、令和6年10月~令和7年9月の1年間、自治会運営アプリ「ユミコム」のオンライン化実証実験に取り組んだ2団体からその結果報告が行われました。

まず、**永山6丁目自治会**の横山副会長から、アプリの会員登録の取組みを進め、アプリ登録会員数が60%を超えたこと、デジタル回覧板や災害モードの安否確認機能の活用等について報告がありました。永山6丁目自治会では、令和6年2月から自治会改革プロジェクトを立ち上げ、12項目の改革について取組みを進めており、自治会運営アプリ導入もその一つ。自治会がいろいろと新しく取り組んでいることが地域住民の皆さんに伝わり、新規会員勧誘の際にも効果的で、プロジェクト活動をスタートさせてからの1年8ヶ月で自治会への新規加入会員が10世帯も増えたことが最大の成果、との報告がありました。

次に、**桜ヶ丘三丁目自治会みどり会**の田中オンラインコミュニティ運営部長から報告があり、最初のアプリ導入説明会は回覧板での内容説明を求められ紛糾し、当初はなかなか理解を得られず登録者数を増やすのに非常に苦労したものの、その後推進組織体制を立て直し、住民説明会を繰り返し開催し丁寧に進めたことで、アプリ登録会員数も順調に増え、アプリ登録世帯数は207世帯、66.7%になった、との報告がありました。また、オンライン運営部による運営方法の整備、オンライン化開始のための規約作成と配布を進め、推進体制を充実させて取り組んでいます。一番の苦労は、今まで対応していないオンライン化を一から作り出すことで、次に取り組む団体にみどり会の活動内容を是非伝えて行きたい、との報告がありました。

#### \*合同部会出席者へのアンケート実施結果

当日出席者にアンケートを実施、回収率89.7%。報告について、「とても良い」と「良い」が94%を占めました。要望や意見として、IT活動に関する良い情報を得られた、事例発表はとても参考になった、自分の自治会でどうすればよいか、考えていきたい、という内容がありました。



## 「令和7年度地域のお祭り開催状況に係るアンケート調査」結果報告

### 【アンケート回収結果】

令和7年12月に自治連加盟116団体を対象に地域でのお祭り開催状況に関するアンケートを実施しました。今回アンケート調査票を提出いただいた団体は計69団体、アンケート回収率59.5%でした。令和5年12月に同じアンケートを実施しコロナ禍明け後、地域交流の場となる地域のお祭りが再開出来ているかを調査した際は、お祭りを中断したままで再開出来ていない団体が約3割弱ありました。

今回、その後2年経過して地域交流の場としてお祭りが各地域でいつ実施されているか、どのように工夫して開催されているか、来年度のお祭り開催予定についてアンケート調査し、各地域のお祭り開催状況と予定をあわせてお知らせし、各団体の来年度計画の参考とさせていただくことにしました。

|     | 自治会   | 管理組合  | 計     |
|-----|-------|-------|-------|
| 対象数 | 63    | 53    | 116   |
| 回収数 | 39    | 30    | 69    |
| 回収率 | 61.9% | 56.6% | 59.5% |

### 【お祭りの開催状況】

アンケート結果によると、今年お祭りを開催した団体は、回答のあった69団体中36団体で、約半数でした。

一方で、今年度もお祭り開催を見送った団体は16団体で回答いただいた団体の2割強が、まだコロナ禍以前に戻っていない状況にあります。2年前の調査時点から若干再開した団体は増えてはいるものの目立った回復には至っていない状況です。再開出来ていない理由の一つに役員の高齢化を挙げている団体が多く見られることと、資金調達面の不安、懸念や会場施設の改修工事による影響も見られます。

| 開催有無    | 回答数 |      |    | 割合     |
|---------|-----|------|----|--------|
|         | 自治会 | 管理組合 | 計  |        |
| 開催した    | 22  | 14   | 36 | 52.2%  |
| 以前は開催した | 8   | 8    | 16 | 23.2%  |
| したことがない | 9   | 8    | 17 | 24.6%  |
| 回答計     | 39  | 30   | 69 | 100.0% |

### 【お祭りの開催時期】

今年度お祭りを開催した36団体中9団体が複数回お祭りを実施しており、年間を通して地域交流の機会を設けている様子が伺えます。

\*お祭り開催団体数<お祭り開催回数>

夏：6月～8月と秋：9月～11月開催がほぼ同じ件数になっています。盆踊りの開催は8団体に止まり、団体によっては猛暑影響を受け、開催時期を夏から秋に変更しているところもあります。

| 開催時期     | 回答数 |      |    | 割合     |
|----------|-----|------|----|--------|
|          | 自治会 | 管理組合 | 計  |        |
| 夏：6月～8月  | 13  | 6    | 19 | 40.4%  |
| 秋：9月～11月 | 11  | 7    | 18 | 38.3%  |
| 冬：12月～1月 | 6   | 4    | 10 | 21.3%  |
| 回答計      | 30  | 17   | 47 | 100.0% |

### 【お祭りの運営主体】

お祭りの運営主体が自治会・管理組合との回答は、開催36団体中22団体と6割を超え、実行委員会方式で運営を行っているとの回答は4割未満に止まっています。

お祭りの予算は50万円未満で開催しているとの回答が25団体、69.4%と多い状況です。多摩市他の助成金制度を利用している団体は20団体、55.5%に止まり、半数近くは利用していない状況。

| 運営主体     | 回答数 |      |    | 割合     |
|----------|-----|------|----|--------|
|          | 自治会 | 管理組合 | 計  |        |
| 自治会・管理組合 | 14  | 8    | 22 | 61.1%  |
| 実行委員会、他  | 8   | 6    | 13 | 38.9%  |
| 回答計      | 22  | 14   | 36 | 100.0% |

### 【お祭りのイベント、企画内容】

お祭りでは実施されたイベントとしては、模擬店（飲食関係、雑貨販売）、ビンゴゲーム、和太鼓演奏、音楽演奏が季節を問わず多く、夏の企画では盆踊り、冬の企画では餅つき大会が多く行われています。

今回回答では36団体で計47回開催されたお祭りのイベント企画の数は合わせて107を数え、各団体が参加者を増やすため、楽しんでもらうために企画を複数用意し色々工夫して集客を図っている様子が伺えます。

右上表のイベント以外にも餅つき大会、スタンプラリー、スポーツ大会、演芸大会等、様々なイベントが企画されています。

| イベント企画内容  | 回答数 |      |    | 割合    |
|-----------|-----|------|----|-------|
|           | 自治会 | 管理組合 | 計  |       |
| 模擬店(飲食関係) | 15  | 13   | 28 | 26.1% |
| 模擬店(雑貨販売) | 7   | 9    | 16 | 14.9% |
| ビンゴゲーム    | 5   | 10   | 15 | 14.0% |
| 和太鼓演奏     | 7   | 3    | 10 | 9.3%  |
| 音楽演奏他     | 6   | 2    | 8  | 7.5%  |
| 盆踊り       | 6   | 2    | 8  | 7.5%  |

【お祭りを開催した際の地域の反応】 \*開催した36団体の約9割は、大好評、好評との反応でした。

百草団地自治会、桜ヶ丘一丁目自治会他22団体

参加者多く、大変盛り上がり、大好評だった

例年より参加者は少なかったが、それなりに盛り上がり好評だった。

みどり会自治会、聖ヶ丘四丁目町会他6団体

【今後の課題、見通しや取組について】 \*課題として、スタッフの高齢化、担い手不足を挙げる団体が多かった。

東寺方自治会・一ノ宮自治会  
聖ヶ丘二丁目自治会・あたご第4ブロック自治会  
エステート聖ヶ丘-2-東団地管理組合  
グリーンテラス豊ヶ丘団地管理組合  
エステイメール21多摩団地管理組合・他6団体

実行委員・スタッフの高齢化や担い手不足、準備の負担、情報共有、など課題は多い

瓜生自治会・大貝戸自治会・  
グリーンコープ落合団地管理組合

物価高騰、設営費、電気工事費の高騰、祝金の減少等で予算不足、来年の開催継続方法を模索

住民の交流に焦点を合わせて、従来と同じ内容ではなく、飲酒を伴わない企画等、再考が必要

和田さくら自治会

豊ヶ丘4-1住宅管理組合

自治会員と非会員が交流を深め有意義。自治会に加入してもらうまでが今後の課題

一ノ宮自治会・桜ヶ丘二丁目の会・  
小野路自治会

地域のつながりの大切さを強く感じた。子どもから大人まで、日頃は接点が少ない方同士が自然に交流できる場としてお祭りは大きな役割を果たしている

※令和8年度の各団体のお祭り開催予定（今回、アンケート回答時点の各団体の予定です。）

|     |   |
|-----|---|
| 7月  | 百草団地自治会、桜ヶ丘一丁目自治会、桜ヶ丘二丁目の会、みどり会自治会  |
| 8月  | 東寺方自治会、永山団地自治会、瓜生自治会（盆踊り）、大貝戸自治会、メゾン豊ヶ丘-2団地管理組合、ヒルサイドタウン鶴牧-6団地管理組合、落合自治連合会                            |
| 9月  | 桜ヶ丘四丁目自治会、瓜生自治会、大貝戸自治会、あたご第4ブロック自治会、ブリリア聖蹟桜ヶ丘ブルーミングテラス自治会、グリーンテラス豊ヶ丘団地管理組合、ハイライズタウン鶴牧-6団地管理組合         |
| 10月 | 和田さくら自治会、桜ヶ丘一丁目自治会、永山6丁目自治会、あたご第4ブロック自治会、ブリリアタワー聖蹟桜ヶ丘ブルーミングレジデンス自治会、タウンハウス永山5住宅管理組合、グリーンメゾン鶴牧-3住宅管理組合 |
| 11月 | 百草団地自治会（芋煮会）、あたご第4ブロック自治会（キラキラフェスタ）   |
| 12月 | 百草団地自治会（Xmas）、聖ヶ丘四丁目町会、小野路自治会（餅つき）、ブリリアタワー聖蹟桜ヶ丘ブルーミングレジデンス自治会（Xmas）                                   |
| 1月  | 百草団地自治会（節分祭）、桜ヶ丘一丁目自治会（餅つき）、豊ヶ丘4-1住宅管理組合（新年会）、ハイライズタウン鶴牧-6団地管理組合（餅つき）                                 |

今回アンケート調査の結果、各々の地域で開催されるお祭りが住民にとって地域交流の大事な機会として捉えられていることが、改めて浮き彫りになっています。取り組み課題は多いものの、他団体の取組みも参考にさせていただいて各団体における令和8年度の事業計画立案の際に活かしていただければと思います。こうした地域活動への助成金の制度は、自治連はもとより東京都の助成制度もありますので、それらの活用も是非ご検討ください。

## ＜オンライン化実証実験の結果報告を受けて＞

令和5年度から試行実施したサロン事業において、「高齢化」や「防災」、「コミュニティづくり」をテーマに参加団体で意見交換した際、役員のなり手不足、役員負担が大きい、若い世代の加入減少、高齢者の安否確認、災害時の対応などの課題について多くのご意見が出されました。

自治連ではこうした声を踏まえ、役員負担の軽減や災害時の安否確認などに役立つアプリに焦点を当て、令和5年12月の合同部会において、電子回覧板やイベントカレンダー機能、会議出欠やメッセージ送信機能、トークチャット機能、見守り機能などを網羅したアプリ（Yumicom）を現役自治会役員として開発し事業化された方に講演をいただきました。参加団体からは、多くの関心が寄せられました。

このことを受けて、このアプリが実際に自治会・管理組合の運営に本当に役立つものかどうかを、実証実験として会員団体に導入し、その成果や課題を評価し、今後の自治会・管理組合の活動に役立つものかを検証する事業予算計画を令和6年度の自治連総会で提案し、承認されました。

令和6年6月から7月末に、実証実験参加団体の公募を行い、3団体の応募があり、審査会において2団体を決定し、令和6年10月から1年間の実証実験がスタートしました。

実証実験の結果については令和7年12月の合同部会で報告がされました（本紙3ページ参照）。

この実証実験の結果について、以下の観点で評価を行いました。

- ①アプリ導入による自治会活動へのメリット
- ②アプリ登録会員数の状況
- ③実証実験後の継続利用の状況

| 主な評価項目     | 桜ヶ丘三丁目自治会みどり会   | 永山6丁目自治会  |
|------------|---|---|
| ①導入によるメリット | <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル回覧板によるタイムリーな情報提供</li> <li>・会員からの迅速な情報投稿 など</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会加入会員の増加（10世帯）</li> <li>・デジタル回覧板による利便性向上</li> <li>・安否確認情報の把握が容易 など</li> </ul> |
| ②登録会員数（割合） | 207世帯（66.7%）  | 82世帯（60.3%）   |
| ③継続利用の状況   | 継続利用を決定   | 継続利用を決定   |

これらの点から、導入効果があったものと判断し、今後、アプリ導入による自治会管理組合運営のデジタル化推進支援の取組みを進めていきたいと考えています。

このようなデジタル化に向けた支援については、東京都においても実施しているところですが、自治連としては、助成金交付のみの東京都とは違い、導入にあたって様々な助言を実証実験2団体からいただく「伴走支援」等も含めた支援策を令和8年度から実施できるよう検討しています。

### 令和8年度 定期総会のご案内

| 定期総会            | 懇親会               |
|-----------------|-------------------|
| 開催日：令和8年6月6日（土） | 開催日：令和8年6月6日（土）   |
| 会場：パルテノン多摩 会議室1 | 会場：パルテノン多摩 会議室3・4 |
| 時間：13時～14時45分   | 時間：15時～16時        |

\* 詳細については、団体代表者様宛に後日お知らせいたします。

## 多摩市自治連合会に加入しませんか？

多摩市自治連合会は、市に設立の届出をされている自治会・管理組合のうち、117団体が加入しています（令和8年2月末現在）。令和7年度は、自治会運営アプリを試験的に導入し、実際の自治会活動にどう活かすことができたか、12月の合同部会において報告をいただきました。次年度に向けてデジタル化推進を今後の取組みに繋がられるよう考えていきます。また、会員が日々抱えている課題やその対策に頭を悩ませていることを率直に意見交換するサロン事業も、好評を得ています。是非、多摩市自治連合会へのご加入をご検討いただき、地域課題への取組みなど様々な問題に、共に取り組んでいきましょう！

### 訃報

多摩市自治連合会の役員として14年にわたり多大なるご尽力を賜りました 小島 明 様が、令和7年12月2日にご逝去されました。

生前のご功績に深く感謝申し上げますとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。

### 編集後記

穏やかな年明けも束の間、異常乾燥が続いて水不足も懸念される今（2月下旬）の状況ですが、各団体におかれましては、年度末の着地に向け引継ぎ準備を進めておられる時期と思います。

今号の特集記事は各団体のお祭り開催状況をアンケート結果を基にまとめています。地域交流の場としてお祭りの重要性が再認識されており、一つでも多くの地域でお祭りが開かれ地域交流の機会が増えるよう来年度の事業計画立案の参考にしていただければ、と思います。（広報委員 横山・市川）